

# TEST ON ROAD

## TRIAL MR-S (TA-ZZW30)

徳トリアル 大阪府堺市美原区丹上87-1 ☎072-369-3539 <http://www.trial.co.jp>



リヤミッドシップであることをほころように、大胆かつ効果的に排熱ダクトをレイアウトしたリヤバンパーなど、機能をデザインに変え、ゆたかな表情を持たせたトライフォースエアロ。テールレンズカバーの装着で、リヤビューは圧巻の存在感を見せてくれる。なお、ホイールはレイズの新作「VR.G7」をセレクトし、PCD100の4穴というMR-Sながら18インチの装着に成功。



目玉がMR-Sオーナーから要望の高かったハードトップのリリースだ。「M

軽さという持ち味をいかし弱点の排気系を全面見直し

最終型セリカやMR-Sは、先代や前身が排気量2ℓの3Sエンジンを搭載していたのに対し、1.8ℓのZZエンジンにスケールダウン。さらには、ターボグレイドの設定がないばかりか、MR-Sは140psの1ZZ-FEのみをラインアップだ。両車ともに先代から車重が大きくしほりこまれたものの、非力さが否めないのは正直なところ。

歴代セリカに注力してきたトライアルは、そんなZZ系エンジン搭載車に対しても多角的なチューニングを行ってきた。とくに、190psの2ZZ-GEをベースに2ℓ化を図り、241ps/19.9kgmを発生させる「3ZZエンジンキット」が爆発的ヒットとなっている。

今回紹介するMR-Sに関しては、2ZZ-GEへの載せ換え需要も高いそうだけど、もっと気軽にチューニングを楽しみたいという要望に応じていくために、新たに1ZZ用のチタンマフラーとスポーツキャタライザーを「トライフォース」ブランドからリリースしたのだ。

素材に純チタンを採用することで軽量化を実現するチタンマフラーは、1mmという肉厚がキモとなり、乾いた甲高いエキゾーストサウンドを轟かせてくれる。

「イマどきのクルマは排気音が静かめでモノ足りないよな。だから、迫力と聴かせる音にこだわって製作してるんよ。それにMR-Sは排ガス規制の兼ねあい、純正の排気系はキャバがおさえられとるから、排気チューンはかなり効果的。だったら、スポーツキャタもやらないとあ!!ってことになつたんよ」とは、トライアル牧原サンのコメント。

スポーツキャタライザーは純正触媒のセル数に対し、約3分の1となる150セルを採用。ギリギリまで排気抵抗を低減し、積極的にパワーアップをねらって開発されており、スポーツキャタライザーのみの換装で5.1ps、スポーツキャタライザーとトライフォースEXマニの組みあわせで8.2psの向上が、シャシダイテストで実証されているのだ。

そして、もうひとつの